

## 【省エネルギー特集】

# 新・エネルギー政策法での省エネ促進策（米国）

## 1. エネルギー効率のための税制優遇措置

ブッシュ大統領の署名により、2005 年エネルギー政策法が 8 月 8 日に発効した。同法は、エネルギーの効率化を追求する消費者や事業者のための新しい税制優遇措置の設置プロセスを発動するものである。「省エネルギーは、個人の美德ではなく、公共の美德である。そして、私が本日署名するこの法案によって、米国は省エネルギーを選択する消費者の味方となる」と、ブッシュ大統領は述べている（注1）。

このエネルギー法によって、自宅のエネルギー効率を改善すると税額控除の総額が最高 500 ドルとなる。例えば、新しい外窓の設置で最高 200 ドル、高効率のセントラル・空調設備、ヒートポンプあるいは給湯装置の設置で最高 300 ドル、高効率の暖房炉やボイラーの設置に対して最高 150 ドル、そして断熱材、省エネドア、反射断熱屋根の費用に対する 10%の控除等である。この税額控除は 2006 年と 2007 年に有効となる。米エネルギー省（DOE）は、エネルギー効率の良い住宅を建設する建設業者や、エネルギー効率の良い電化製品を製造する製造業者への新しい税額控除を設置することで、消費者の節約にもなると予測している。エネルギー効率の良い新築の商業ビルも減税措置を受けることになる。

ハイブリッド電気自動車や最新式希薄燃焼エンジンとして知られている清浄燃焼ディーゼル・エンジン車を購入すると、最高 3,400 ドルの税額控除を受けることができる。車両に対する税額控除は燃料の節約量に比例するが、自動車メーカーが控除適用自動車を 6 万台販売した時点から段階的に廃止される。代替燃料自動車は 4 万ドルまでの税額控除を利用できる。事業者に対しても、バス等の大型ハイブリッド自動車の購入には最高 12,000 ドルの控除、大型代替燃料車を購入した場合は最高 32,000 ドルの控除に加えて、前述の税額控除を受けることができる。また、現在市場に出ていない燃料電池自動車を対象とした税額控除も規定されている（注2）。

## 2. 連邦政府建物のエネルギー効率の向上

2005 年エネルギー政策法は、連邦政府の建物におけるエネルギー使用の削減、連邦政府の省エネ製品の購入、ならびに連邦政府の新築建造物に、より一層の持続可能な

（注1）米国政府の Web サイト『米国の未来のためのエネルギー（Energy for America's Future）』を参照。

（注2）DOE・Web サイトの「Energy Bill Signed」と省エネルギー連盟のプレス・リリースを参照。

設計を求めている。さらに、他の連邦政府の建物と同様の効率基準を議員会館も満たすように、初めて要求している。

エネルギー法は連邦政府機関に対して、建物内の 1 平方フィートあたりの使用量を 2015 年までに 2003 年レベルから 20%を削減するように命じているが、国家安全保障上のエネルギー大量消費型プロセスや事態は例外としている。また、エネルギーの節約による余剰資金を連邦政府機関は保有できるが、その資金をエネルギー効率や再生可能エネルギーのプロジェクトに還元することを求めている。政府機関がエネルギー改善へ支出することを促すために、省エネルギー推進プログラムが延長される。同プログラムは、民間企業が支出するエネルギー効率改善費用に対して、エネルギーの節約量に応じた払い戻しを行う。同法は、さらに、エネルギー・スター製品あるいは連邦エネルギー管理プログラムによって省エネ設計された製品の購入を連邦政府に求めている。

今後新たに建設される連邦政府の建物は、(住宅を対象とした)国際省エネルギー・コード (International Energy Conservation Code) あるいは米加熱冷凍空調工学会が 2004 年に設定した最低基準よりも 30%少ないエネルギーを使用するように設計されることになる。さらに、新しい連邦政府の建物には節水技術を組み込み、持続可能な設計原理を対応させなくてはならない。

### **3. 夏時間 (Daylight Saving Time) の変更と電化製品の規格設定**

エネルギーを節約する方法が 1 つある。春と秋の数週間、一時間遅く電灯のスイッチを入れることである。何百万の儉約的な米国住民が電灯をつけるまでの一時間、暗い中で座っているのを想像するかもしれないが、連邦議会はそれを実現する簡単な方法を見つけた。夏時間 (サマータイム制度) の実施期間を延長するのである。2005 年エネルギー政策法によって、2007 年の夏時間は従来のように 4 月の第 1 日曜日ではなく、3 月の第 2 日曜日から始まり、10 月の最後の日曜日ではなく 11 月の最初の日曜日に終わることになった (訳注: 約 1 ヶ月間の延長)。連邦議会はこの変更がエネルギーの節約になると期待している。DOE には、この変更による影響を研究し、連邦議会に報告する義務が生じる。また、連邦議会は夏時間を元に戻す権利を留保している。

消費者のエネルギー節約を助けるもうひとつの方法は、電化製品やその他製品のエネルギー効率に最低基準を設けることである。新しいエネルギー法によって、除湿機、配電変圧器、天井扇風機、交通信号機、電光出口標識、フロアランプ、その他多数の製品に関するエネルギー効率基準が設定される。さらに、DOE は、充電器、自動販売機、外付け電源装置の新しい規格の設定を求められている。同法はまた、洗濯機、製氷機、冷蔵庫、冷凍庫、パッケージ・エアコンおよび暖房設備等、商業利用する様々

な設備の新たな規格も要求している。カリフォルニア州とその他 5 州ではすでに、このような製品の多くに規格を設けているが、連邦規格が設定されると、製品規格が州ごとに異なるという混乱を回避できる。

最後に、2005 年エネルギー政策法の省エネルギーに向けた対策を表 1 にまとめる。

**表 1 2005 年エネルギー政策法にみられる省エネルギー / エネルギー効率化対策**

<p><b>住宅用エネルギー効率の促進</b></p> <p>技術によって「ゼロ・エネルギー」ホームが可能になる。平均的米国家庭では、不十分な断熱や効率の悪い電灯や電化製品の使用によって 10～50%のエネルギーを損失している。ブッシュ大統領は、エネルギー効率を改善するための研究支援に取り組み、エネルギー法案では、家庭のエネルギー効率を改善する消費者を対象とした税額控除を設定する。</p>
<p><b>電化製品・商品のエネルギー効率を向上</b></p> <p>エネルギー法案は、暖房装置、冷蔵庫、照明装置等、幅広い消費財や商品を対象とした新しいエネルギー効率最低基準を設定する。さらに、エネルギー効率の高い製品の販売・生産を促進することで、利用可能なエネルギーの供給を増加し、一般家庭の支出を削減させることに役立つ。温度自動調節装置のアップグレード、外窓の設置、そしてエネルギーの浪費をやめるだけでなく、高効率化したセントラル空調、ヒートポンプ、給湯装置の税額控除が利用可能となる。</p>
<p><b>連邦政府のエネルギー使用を削減</b></p> <p>連邦政府はエネルギーの最大消費者であることから、エネルギー法案では政府機関に対して、自らが実例を示し、エネルギー効率を改善することを求めている。同法案は、政府機関の各施設のエネルギー効率改善を民間受託業者が支援できるように省エネルギー推進プログラムに権限を与えている。また、連邦政府によるエネルギー効率の意欲的な新目標を設定し、政府機関にエネルギー・スター製品の購入を求めている。</p>
<p><b>国内エネルギー・インフラの近代化</b></p> <p>エネルギー法案は、大規模停電のリスクを軽減し、送電のボトルネックを最低限にするように、老朽化が進んでいるエネルギー・インフラの近代化を支援する。新しいインフラへの投資を抑える時代錯誤の規則を撤廃し、送電設備建設を対象とした税制優遇措置を提供し、配電網を効率化する超電導送電線等の新技術の開発を促進することで、エネルギー・インフラの近代化を達成できるだろう。</p>
<p><b>再生可能エネルギー源で国のエネルギー供給を多様化</b></p> <p>エネルギー法案は、家庭用太陽エネルギー・システムへの初めての税額控除を含む、風力、太陽、バイオマス・エネルギーの税額控除によって、再生可能エネルギー源の使用を促進する。水素技術開発研究を拡大し、エタノールやバイオディーゼルのような再生可能燃料の使用を大幅に促進するために、柔軟性のある国家再生可能燃料基準を設定する。</p>

### **次世代省エネ車両を支援**

ブッシュ大統領は、2006 会計年度において、省エネ・ハイブリッド、クリーン・ディーゼル、燃料電池自動車を対象とした新しい消費者税額控除を要求した。エネルギー法案は、このような自動車の購入に対して、節約可能量に基づき 1 台で最高 3,400 ドルの税額控除を規定した。このような自動車の中には、従来のガソリン燃料車と較べて、2 倍の距離を走行可能なものもあり、排気量の低下だけでなく、米国の輸入エネルギーへの依存度を低下することができる。

出典：米国政府のニュース・リリース 『President Bush Signs into Law a National Energy Plan』より抜粋

以上

翻訳・編集：NEDO 情報・システム部

( 出典： <http://www.eere.energy.gov/news/archive.cfm/pubDate={d%20'2005-08-10'}> )